

(表面から)平成15年4月から始まる障害者福祉の
在宅サービス(ホームヘルプ・デイサービス・短期入所)利用負担額(案)一覧

利用者本人分(障害児は除く)及び扶養義務者分(案)

	居宅介護30分当たり	デイサービス	短期入所	上限月額
A 生活保護法による被保護者	0円	1日 0円	1日 0円	0円
B Aを除く当該年度分の市町村民税非課税	0	0	0	0
C A及びBを除き前年度分の所得税非課税 当該年度分の市町村民税 所得割非課税(均等割課税)	50	100	100	1,100
当該年度分の市町村民税 所得割課税	100	200	200	1,600
D A及びBを除き前年度分の 所得税年額が				
30,000円以下	150	300	300	2,200
30,001~80,000	200	400	400	3,300
80,001~140,000	250	500	600	4,600
140,001~280,000	300	700	1,000	7,200
280,001~500,000	400	1,000	1,400	10,300
500,001~800,000	500	1,300	1,800	13,500
800,001~1,160,000	600	1,700	2,300	17,100
1,160,001~1,650,000	800	2,100	2,800	21,200
1,650,001~2,260,000	1,000	2,500	3,400	25,700
↓				
以下6,270,001以上まで				

◆利用者負担額に上限がもうけられました。

ミニデイサービス便り

思わぬ画廊に

今年は早や早やと初冬を迎えていますが、その分秋の紅葉は美しいものでした。

当会のミニデイサービスが行われる目の前の公園も、その美しさはまさしく錦でした。

ミニデイサービスの皆さんが口々に「美しいねえ。きれいだねえ」と日毎に姿を変えていく景色に感嘆されていました。感激されるこの気持ちを大切に、この紅葉をみんなで表現してみようことを提案させていただいた。

思い切り気持ちをぶつけていただこうと、段ボールを開いてポスターカラーの白を塗りキャンバスにしました。そこに、思いのまま、感じられたままに、筆で、指で、ローラーで色を重ねていただきました。段ボールの生地が生かされた見事な絵が出来上がりました。

「必死で描きました」「無心で描いた」「恥ずかしい」「自分では上手いとは思わないが始めてくださることが嬉しい」と気持ちが、思いが絵を見ながら生き生きと語られます。

またある方は、「美しい」と素直な美しさを感じられてか絵に向かって手を合わせる方も。

元気な方ばかりでなくても、体が不自由な方も、記憶に少し障害のある方も、誰もが全員出来ないことはありません。

自分流に全員が挑戦されます。

車椅子から乗り出すように軍手に墨をつけて書かれる方、眠い表現をそのまま「ねむい」と書かれ「眠いいろ」は黄色と色をつけられる。

「もみじはきれーい」と文字のうえに赤の色がはしる方も。

皆さん「これもわるくはないこと」という表情で画廊に変身した部屋を見回しておられる。

部屋だけではもったいないから、公園の前に段ボールの絵を並べてみました。

道行く人々が、足を止めて見入っておられる。

公園の前の青空画廊に、拍手のように紅葉した葉が降りる。皆さんは本当に素晴らしい画家。

平成14年12月のミニデイサービスは

保育園 12月5・19

事務所 12月3・10・12・17・24・26

12月の予定

- 1日(日) 会報「まごころ」発行
定例会(協力会員・ふれあい広場)
- 3日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
サービス提供責任者会議
- 5日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 7日(土) 合同シンポジウム 主催:愛知県医師会
「これからの介護システム-連携促進と情報-」
- 10日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 (場所・事務所)
サービス提供責任者会議
- 12日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 17日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
サービス提供責任者会議
労務管理講習会
- 19日(木) ミニデイサービス・ミニデイ定例会 (場所・事務所)
- 24日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 (場所・事務所)
サービス提供責任者会議
- 28日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
理事会
- 毎週月・水・金 ふれあい広場 (場所・事務所)
- 毎週火 太極拳 午後4時~5時
- 毎週土 お子様の絵画教室 午後

シンポジウムご案内
日時・平成14年12月7日(土)
14時~17時40分
内容・これからの介護システム
| 連携促進と情報化 |
基調講演 遠藤英俊氏
シンポジウム
よろいサービス提供における
連携促進と情報支援

場所・愛知県医師会館 9階
主催・愛知県医師会

10月会員登録状況

協力会員	41人
利用会員	50人
賛助会員	126人
計	217人

10月介護保険訪問活動

訪問件数	56件
家事	693 時間
複合型	390.5 時間
身体	223 時間
合計	1306.5 時間

10月有償活動

在宅活動件数	17件
活動人数	23人
ミニデイサービス利用者	95人
移送サービス利用者数	88件
ふれあい広場	8日間
おけい活動時間	389時間

1月の定例会

在宅支援・15年1月5日(日) 9時30分~12時30分
定例会・臨時総会

ふれあい・15年1月5日(日) 13時30分~15時
事務所

ミニデイ・15年1月19日(木) 16時00分~17時
事務所

☆在宅支援定例会の午前はケアがお休みになります
利用者さんご承知下さい。お願い致します。

さる10月20日から21日にかけて桔梗の会親睦旅行で尾鷲方面のバス旅行に出かけた。桔梗の会とは、病気のために直腸を切除したり、膀胱を切除し、人工肛門や人工膀胱になった患者さんの会である。

会が結成されてからもう18年が過ぎ、親睦旅行は17回目となった。病院主催のこの旅行には、毎回私と看護婦を含めた4人が同伴し、患者さんやその家族の方も同伴で出かけるのである。多いときは総勢50名、少ないときで40名ほどのバス旅行である。60才代は若い方である。最高は86才の方まで。診療鞆、点滴台、車椅子持参の旅である。

時には癌が再発し、このバス旅行が最後の旅となることを分かって参加する人や、人工肛門になって、この桔梗の会の旅行だけが楽しみの人や、患者さん同士の家族参加の常連さんや、様々の患者さんが参加するのである。同病相哀れみながら、いたわり合いながら、ゆっくりとした旅である。

旅館に着けば、まずは温泉。初めて人工肛門や人工膀胱になった人は、その恥ずかしさや、恐ろしさから、大勢の人が入る温泉には入り辛いものである。せつかく温泉に来たのに、温泉に入ろうとしない患者さんを励まし、私とベテランの患者さんと一緒に、その人を取り囲むようにしながら温泉に入ることもしばしばである。温泉の後は楽しい宴会である。医者と看護婦の付き添った宴会であり、患者さんはめいっばい羽目を外して楽しい宴会となる。踊りあり歌ありで、私はもちろん、バスの運転手からガイドまで一緒になって楽しむ一時である。

宴会の後は、それぞれの部屋で、患者さんが日頃話せない悩み事をお互いに話し合い、自信を持つようになる。家族とて同じである。家族の悩みをお互いに話し合い、慰め合い、明日の生きる勇気を得るのである。私はただ静かに見守るだけ。美味しいお酒を飲んで、温泉に入って、部屋の中で患者さんに異状が起こらないのを祈るのみである。

帰りのバスは、おみやげ物で一杯。初めての患者さんは、生きる望みを多くの人々から与えられ、見違えるように元気になっている。ベテランの人は、今年も無事親睦旅行に出席出来たことを喜び、又来年もこの旅行に参加できるようにと、病気の再発が起こらないように健康管理に励もうとする。

いつまでこの旅行を続けられるのか分からないが、大勢の患者さんの喜ぶ姿を見ていると、自分の体力のある限り、続けなければならぬ旅行になってしまったようである。(山下病院 院長)